

# 國家船舶及港灣一元運營實施要領

## 第一章 總 則

一、本要領ハ左ノ諸決定及規程ニ基キ國家船舶一元運營業務處理ノ準據ヲ定ム

○船舶一元運營體制轉換方針（昭和二〇、三、一六「陸海軍主務局部長申合」）

○國家船舶及港灣一元運營實施要綱（昭二〇、四、一九「最高戰爭指導會議決定第二十號」）

○船舶及港灣一元運營ニ關スル陸海軍中央協定及同補遺（昭二〇、四、一九）

○海運總監部令（昭二〇、五、一「軍令甲第一號」）

○國家船舶及港灣一元運營ニ關スル閣議決定（昭二〇、四、二七）（附錄第一）

○內閣告示第八號（昭二〇、五、一）（附錄第二）

○國家船舶及港灣一元運營實施ニ關スル職權委任ニ關スル陸海軍次官通牒（昭二〇、五、二）（附錄第三）

○船舶及港灣一元運營ニ關スル件申揚搭指揮官ニ關スル陸海軍中央協定（昭二〇、五、一四）（附錄第四）

二、船舶ノ一元運營トハ戰力會議ノ決定ニ基キ作戰、軍需品及物動物資ニ亘ル海上輸送計畫及之ニ伴フ配船ノ實施ヲ謂フ（國家船舶及港灣一元運營實施要綱）

家船舶及港灣一元運營實施要綱）

三、一元運營スヘキ國家船舶トハ差當リ百總噸以上ノ汽船トス（國家船舶及港灣一元運營實施要綱）

但シ左記船舶ヲ除ク（昭二〇、五、一七「海運機密第三號」）

(イ) 木造船（汽船資格ヲ含ム）

(ロ) 鐵道連絡船（但シ鐵道連絡船トシテ使用セサル場合及關釜、博釜間ノ鐵道連絡船ノ海上輸送計畫ヲ除ク）

(ハ) 瀬戸内海交通船等地方海運局及地方廳ニ委任シアル地方航路就航船舶

四、港灣ノ一元運営トハ港灣機構ヲ一元的ニ統制運営スルヲ謂ヒ其ノ實施ハ差當リ一元的ニ揚搭力ノ綜合能率ヲ發揮スルヲ主眼トス（國家船舶及港灣一元運営實施要綱）

五、船舶準備トハ一元運営ノ爲海上輸送ニ關聯スル一切ノ準備事項ヲ謂フ（船舶及港灣一元運営ニ關スル陸海軍中央協定及同補遺）

六、配船トハ配船計畫ヲ策定シ之ヲ海運地方實行機關ノ各部及船舶ニ指令スルヲ謂フ

七、現場配船トハ海運總監ノ定ムル所ニ依リ行フ運輸ノ實施及特令ノ船舶ニ對スル配船計畫及其ノ實施ヲ謂フ

八、配船調整トハ配船計畫ノ變更調整ヲ謂ヒ中央ニ於テ處理スヘキモノト現場ニ於テ處理スヘキモノトアリ中央ニ於テ處理スヘキモノハ直接中央ヨリ所要ノ海運地方實行機關及船舶ニ指令ス、現場ニ於テ處理ヲ要スル場合ニハ中央ニ連絡ノ上之ヲ實行スルヲ本則トスルモ急ヲ要スル場合ニハ實施後速ニ中央ニ報告スルモノトス

機雷等ノ障害ニヨリ屢々配船調整ヲ行フ必要アル場合ハ中央之カ標準ヲ示シ現場ハ本標準ニ依リ實施スルモノトス此ノ場合ニ在リテモ現場ハ極力中央ニ事前連絡スル如ク努ムルモノトス

九大本營カ國家船舶ヲ一元運営スル目的ハ陸、海、民各所屬船舶ノ綜合活用ヲ圖ルト共ニ急迫セル戰局ニ處シ作戰的處理ヲ以テ敏活ニ海上輸送ノ諸隘路就中揚搭能率ノ飛躍的向上ヲ策シ適時適切ニ之カ集中轉換ヲ行ヒ以テ海上輸送力ノ増大ヲ期スルニ在リ

之カ爲陸、海、官、民ノ各特徴ヲ發揮シ現機構ヲ極力活用スルト共ニ機構改變ニ依ル能率ノ一時的低下ヲ防止スルニ努ム右實施ノ爲大本營ニ海運總監部ヲ設置シ其ノ他必要最少限ノ編制改正ヲ實施ス

一〇、陸海軍大臣ハ戰時行政職權特例ニ依リ運輸大臣ノ所掌ニ屬スル國家船舶ノ運営ニ關スル職權ノ中海上輸送計畫及配船實施ニ關スル職權ヲ行使シ之ヲ左ノ如ク陸海軍官憲ニ委任セリ

（附錄第二、第三參照）

海上輸送計畫ノ策定及主トシテ配  
船(調整ヲ含ム)ニ關スル事項  
海運總監

主トシテ現場配船(調整ヲ含ム)  
ニ關スル事項  
船舶司令官

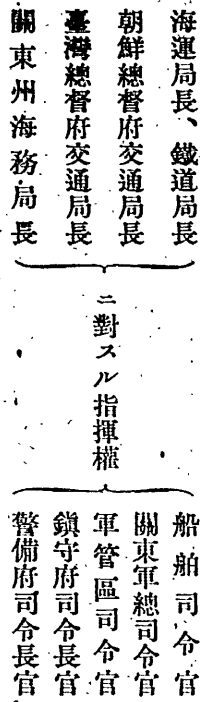
一一、國家船舶一元運營ニ關スル指揮(指示)系統竝ニ業務分擔別表第一ノ如シ

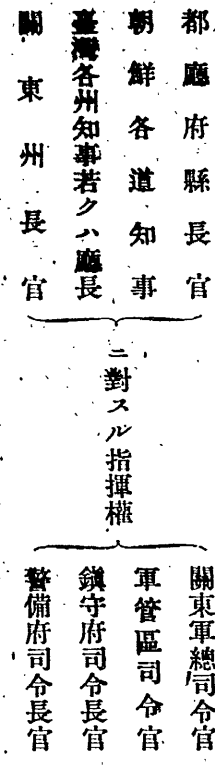
一二、港灣ニ於ケル揚搭力ノ綜合能率發揮ノ爲戰時行政職權特例ニ依リ地方行政協議會ヲ附置セラレタル地方長官ハ港灣ニ於ケル行政ニ就キ地方行政協議會令第四條ニ規定セル官衙ノ長ニ對シ必要ニ應シ關係地方長官ヲシテ其ノ指揮權ヲ行使セシムルコトヲ得

右ハ朝鮮、臺灣及關東州ニ於テモ之ニ準シテ適用セララル

而シテ其ノ能力ノ一元的發揮ヲ容易ナラシムル爲各港灣ニ一元化セル軍ノ揚搭指揮官ヲ設置ス(國家船舶及港灣一元運營實施要綱)

一三、陸海軍大臣ハ戰時行政職權特令ニ依リ現場配船實施竝ニ港灣ニ於ケル短切揚搭實施ニ關シ必要アル時ハ海運局長、鐵道局長及都廳府縣長官ヲ指揮スルコトヲ得而シテ其ノ權限ヲ左ノ通陸海軍官憲ニ委任セリ(附錄第二、第三參照)





一四、船舶司令官（鎮守府司令長官警備府司令長官）ハ本要領ニ基キ實施ノ細部要領ヲ定メタル場合ハ之ヲ海運總監ニ報告スルモノトス

一五、本要領ニ註記セサル事項ハ現狀通トス但シ新ニ示達スル事項ヲ除ク

## 第二章 編制及各機關ノ責務

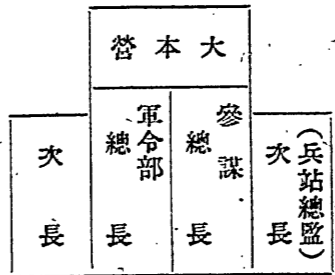
### 第一項 要 則

一六、國家船舶ノ一元運營ニ直接任スル機關左ノ如シ

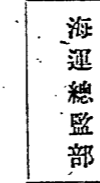
- (イ) 海運總監部
- (ロ) 船舶司令部
- (ハ) 海軍運輸部
- (ニ) 地方海運局
- (ホ) 廣島鐵道局
- (ヘ) 運營會支部

一七、前項ノ内海運總監部ヲ除キタルモノヲ海運地方實行機關ト謂ヒ其ノ上級機關ヲ船舶司令部トス（國家船舶及港灣一元運營實施要綱）

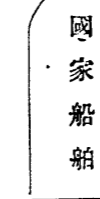
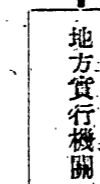
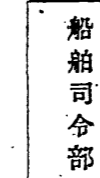
國家船舶一元運營ニ關スル指揮(指示)系統並ニ業務分擔



(指示)



(指示)



〔主トシテ配船及配船調整ニ關シ〕

大本營ニ戰力會議ヲ附設シ左ノ事項ヲ決定ス

- 一、輸送總量
- 二、種別
- 三、順位
- 四、其他必要ナル事項

備考

本件ハ大東亞戰爭中ノ臨時措置タリ

海運總監部ハ國家船舶ノ一元運營ニ關スル大本營機關タリ

其ノ所掌任務ノ大綱左ノ通

- 一、國家船舶ノ一元運營ニ關シ
  - (一) 海上輸送計畫
  - (二) 配船(調整ヲ含ム)
  - (三) 船舶運營ニ必要ナル船舶準備ノ大綱ヲ計畫シ其ノ實施ニ關シ關係機關ニ要請ス
- 二、總監ハ國家船舶乘員ヲ指揮監督シ且賞罰權ヲ保有ス
- 三、總監ハ國家船舶ノ一元運營ニ關シ船舶司令官、鎮守府警備府司令官、海運總局長官及鐵道總局長官ニ對シ指示ヲ與フルコトヲ得

船舶司令部ハ國家船舶ノ一元運營ノ爲ノ現場實行上級機關タリ

其ノ所掌任務ノ大綱左ノ通

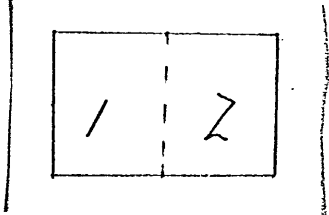

海運總監ノ指示ニ基キ運輸ノ實施ニ關シ左ノ海運地方實行機關ヲ指揮ス

- 一、船舶司令部所屬機關
  - 二、海軍運輸部
  - 三、地方海運局
  - 四、廣島鐵道局
  - 五、運營會支部
- 但シ左ノ特定事項ハ各次ノ通處理セラルヘシ
  - (イ) 船舶ノ修理ニ關シテハ中央協定ノ通右修理業務ノ速達ニ關シテハ船舶司令部ニ於テ海軍艦政本部鎮守府、警備府ト密ニ連絡之カ促進ニ協力スル如ク其ノ要領ヲ定ム
  - (ロ) 運輸監督官ハ運輸成績ヲ海運總監、所屬長官及船舶司令官ニ報告ス又運輸ニ關シテハ船舶司令官ノ指揮ヲ受ク
  - (ハ) 船員教育ハ運輸省ニ於テ行フモノノ外護衛及海軍豫備員ニ關スル事項等ノ實施ハ鎮守府警備府司令官官之ニ任シ當面緊要ナル事項ニ關シテハ其都度船舶司令部及鎮守府、警備府之ニ當ル
  - (ニ) 船舶準備ノ大綱ニ關スル計畫及之カ實施ニ關スル關係機關ヘノ要請ヲナス任務ハ海運總監ノ所掌ナルモ船舶ノ修裝、炭水補給ニ關スル準備事項ハ中央ノ基本決定ニ基キ其ノ實施ニ關シテハ船舶司令官之ヲ主掌シ鎮守府、警備府之ヲ援助ス
  - (ホ) 船員ノ給與及補充交代ハ運輸省ノ所掌ニ屬シ、其ノ實施ハ中央基本決定ニ基キ船舶司令官之ヲ主掌シ鎮守府警備府援助ス

國家船舶トハ差當リ百總噸以上ノ汽船トス

船員ノ補充交代等ハ運輸省主擔任トナリ其ノ現場業務ニ關シテハ海運總局及船舶運營會主掌シ陸海軍之ヲ援助ス又船員ノ給與ハ運輸省之ヲ所掌シ中央基本ヲ決定スルモ其實施ニ關シテハ船舶司令官之ヲ主掌シ鎮守府警備府司令官長官之ヲ援助ス船員ノ遭難死亡ニ對シテハ軍屬トシテ陸海軍省ニ於テ取扱フ

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影順序	
分割撮影 した 理由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>4年6月22日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 加部東 保夫 </p>	

一元運営ノ為軍輸送機關指揮系統一覽表

運輸關係指揮系統

運輸關係		指揮系統		指揮官	
廣域	揚塔	統一指揮官	各港指揮官	短切揚塔擔任官	短切揚塔擔任官
大泊	(A)	大泊船舶地區隊長			
根室	(B)	根室船舶地區隊長	(A) 根室船舶地區隊長		
釧路	(B)	釧路船舶地區隊長	(B) 釧路船舶地區隊長		
小樽	(A)	小樽船舶地區隊長	(A) 小樽船舶地區隊長		
留萌	(A)	留萌船舶地區隊長	(A) 留萌船舶地區隊長		
室蘭	(B)	室蘭船舶地區隊長	(B) 室蘭船舶地區隊長		
函館	(A)	函館船舶地區隊長	(A) 函館船舶地區隊長		
青森	(A)	青森船舶地區隊長	(A) 青森船舶地區隊長		
大湊	(B)	大湊船舶地區隊長	(B) 大湊船舶地區隊長		
八戸	(B)	八戸船舶地區隊長	(B) 八戸船舶地區隊長		
船川	(A)	船川船舶地區隊長	(A) 船川船舶地區隊長		
酒田	(A)	酒田船舶地區隊長	(A) 酒田船舶地區隊長		
新潟	(A)	新潟船舶地區隊長	(A) 新潟船舶地區隊長		
直江津	(A)	直江津船舶地區隊長	(A) 直江津船舶地區隊長		
富山	(A)	富山船舶地區隊長	(A) 富山船舶地區隊長		
伏木	(A)	伏木船舶地區隊長	(A) 伏木船舶地區隊長		
七尾	(A)	七尾船舶地區隊長	(A) 七尾船舶地區隊長		
敦賀	(A)	敦賀船舶地區隊長	(A) 敦賀船舶地區隊長		
舞鶴	(B)	舞鶴船舶地區隊長	(B) 舞鶴船舶地區隊長		
新舞鶴	(B)	新舞鶴船舶地區隊長	(B) 新舞鶴船舶地區隊長		
宮津	(A)	宮津船舶地區隊長	(A) 宮津船舶地區隊長		
境	(A)	境船舶地區隊長	(A) 境船舶地區隊長		
塩釜	(B)	塩釜船舶地區隊長	(B) 塩釜船舶地區隊長		
館山	(B)	館山船舶地區隊長	(B) 館山船舶地區隊長		
横須賀	(B)	横須賀船舶地區隊長	(B) 横須賀船舶地區隊長		
名古屋	(B)	名古屋船舶地區隊長	(B) 名古屋船舶地區隊長		
四日市	(B)	四日市船舶地區隊長	(B) 四日市船舶地區隊長		
横濱	(B)	横濱船舶地區隊長	(B) 横濱船舶地區隊長		
芝浦	(A)	芝浦船舶地區隊長	(A) 芝浦船舶地區隊長		
下田	(A)	下田船舶地區隊長	(A) 下田船舶地區隊長		
大阪	(A)	大阪船舶地區隊長	(A) 大阪船舶地區隊長		
神戶	(B)	神戶船舶地區隊長	(B) 神戶船舶地區隊長		
吳	(B)	吳船舶地區隊長	(B) 吳船舶地區隊長		
徳山	(B)	徳山船舶地區隊長	(B) 徳山船舶地區隊長		
光	(B)	光船舶地區隊長	(B) 光船舶地區隊長		
佐伯	(B)	佐伯船舶地區隊長	(B) 佐伯船舶地區隊長		
坂出	(A)	坂出船舶地區隊長	(A) 坂出船舶地區隊長		
新居濱	(A)	新居濱船舶地區隊長	(A) 新居濱船舶地區隊長		
宇品	(A)	宇品船舶地區隊長	(A) 宇品船舶地區隊長		

官令司船船

北鮮船舶隊長		佐世保海軍運輸部長		第一船舶輸送隊長		吳海軍運輸部長		阪神船舶隊長		東京船舶隊長		四日市支部長																										
(A)雄基船隊長	(A)墨湖津船隊長	(A)清津船舶地區隊長	(A)遮湖船隊長	(A)城津船隊長	(A)三角船舶地區隊長	(B)三池支部長	(B)長崎支部長	(A)大連船舶隊長	(A)南九州船舶隊長	(B)鎮海海軍運輸部長	(A)南鮮船舶隊長	(A)馬山船隊長	(A)麗水船隊長	(A)木浦船隊長	(A)鎮海海軍運輸部長	(A)南九州船舶隊長	(A)博多船隊長	(A)唐津船隊長	(A)伊万里船隊長	(A)若松船隊長	(A)八幡船隊長	(A)松島船隊長	(A)仙崎船舶地區隊長	(A)四國船舶地區隊長	(A)廣島船舶隊長	(B)德山支部長	(B)光出張所長	(B)佐伯出張所長	(B)神戶支部長	(B)大阪運輸部	(A)第一輸送隊長	(A)船司東京支部長	(B)横濱支部長	(B)四日市支部長				
雄基	墨湖津	清津	遮湖	城津	三角	三池	長崎	大連	鹿兒島	鎮海	木浦	麗水	馬山	釜山	伊万里	唐津	博多	若松	八幡	門司	下關	仙崎	宇品	新居濱	坂出	佐伯	光	德山	吳	神戶	大阪	尼ヶ崎	下田	芝浦	横濱	四日市		
(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長	(A)北鮮船舶隊長
關東軍司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官	朝鮮軍管區司令官

【註】一、本表ニ示ス指揮系統ハ船舶一元運用上ノ必要ニ基ク軍隊區分ナリ  
 二、同一港灣ニ位置スル陸海輸送機關ハ合體シ同一場所ニ勤務シ揚搭指揮官タル輸送機關ノ長ノ指揮ヲ承クルモノトス



戦力令

第二項 海運總監部

一八、海運總監部ハ國家船舶ノ一元運営ニ關スル大本營機關ニシテ陸海軍軍需省、運輸省（海運總局）、船舶運営會等ノ所要人員ヲ以テ編成ス

一九、海運總監ハ國家船舶ノ一元運営ニ關シ參謀總長及軍令部總長ノ指揮ヲ承ク又陸海軍關係ノ海上輸送業務ニ關シ夫々參謀次長（兵站總監）及軍令部次長ノ指示ヲ承ク

但シ陸海軍兩次長（兵站總監）ノ指示ハ戰力會議決定範圍ヲ逸脱スルコトナシ

二〇、海運總監ハ國家船舶一元運営ニ關シ船舶司令官、鎮守府司令長官、警備府司令長官、海運總局長官及鐵道總局長官ニ對シ指示ヲ與フルコトヲ得

二一、海運總監ハ國家船舶ノ乘員ヲ指揮監督シ之ニ對シ賞罰ヲ行フ、之カ爲海運總監ハ之カ運用ノ大綱ヲ定メ船舶司令官（鎮守府司令長官、警備府司令長官）以下ヲシテ之カ實施ニ當ラシム

二二、海運總監部ノ管掌業務左ノ通

- (イ) 戰力會議資料ノ作成
- (ロ) 輸送計畫ノ策定
- (ハ) 配船（調整ヲ含ム）
- (ニ） 運航監督ニ關スル事項
- (ホ） 船舶ノ保安、救難、自衛、護衛ニ關スル事項
- (ヘ） 港灣運営ニ關スル事項
- (ト） 揚搭ニ關スル事項
- (チ） 船舶準備ノ大綱ノ計畫及之カ關係各機關ニ對スル要請

- (リ) 船員ニ關スル事項
- (ヌ) 通信ニ關スル事項
- (ル) 諸調査諸統計ニ關スル事項

第三項 船舶司令部

二三、船舶司令部ハ國家船舶ノ一元運営ニ關スル海運地方實行機關ノ上級機關ニシテ從前ノ船舶司令部ハ海軍軍人其ノ他ノ人員ヲ加ヘ之ヲ編成ス

二四、船舶司令官ハ國家船舶ノ一元運営ニ關シテハ海運總監ノ指示ニ基キ運輸ノ實施ニ任シ海運地方實行機關及船舶ヲ指揮ス

二五、船舶司令官ハ國家船舶ノ現場配船實施及港灣ニ於ケル短切揚塔實施ニ關シ必要アル時ハ海運局長、鐵道局長、朝鮮總督府交通局長、臺灣總督府交通局長及關東州海務局長ヲ指揮スルコトヲ得

二六、船舶司令官ハ運航監督ニ關シ運航監督官ヲ指揮ス

(註) 運航監督官ハ主トシテ海軍軍人ヲ以テ之ニ當ツルモノトシ海軍軍人ニ於テハ鎮守府、警備府ニ所屬シ船舶ノ運航監督ニ任ス其ノ監督セル運航成績ハ海運總監、所屬長官及船舶司令官ニ報告スルモノトス

二七、船舶司令部ノ管掌業務左ノ如シ

- (イ) 現場配船(調整ヲ含ム)
- (ロ) 運航監督ニ關スル事項
- (ハ) 船舶ノ保安、修理、救難、自衛、護衛ニ關スル事項
- (ニ) 港灣運営ニ關スル事項
- (ホ) 揚塔ニ關スル事項
- (ヘ) 船舶準備ノ實施ノ主宰

- (ト) 船員ニ關スル事項
- (チ) 通信ニ關スル事項
- (リ) 其ノ他

第四項 海運地方實行機關（船舶司令部ヲ除ク）

- 二八、海運地方實行機關（船舶司令部ヲ除ク）左ノ通
    - (イ) 船舶輸送隊、船舶隊、海軍運輸部、海運局、廣島鐵道局
    - (ロ) 船舶地區隊、輸送隊、海軍運輸部支部、海運局支局（監理部ヲ含ム）、船舶運營會支部
    - (ハ) 船隊、海軍運輸部出張所、海運局出張所、船舶運營會出張所等
    - 二九、一元運營ニ關スル軍輸送機關指揮系統現況（別表第二ノ通）
    - 三〇、特定ノ船舶輸送隊長、船舶隊長、船舶地區隊長、輸送隊長、船隊長海軍運輸部長並ニ同支部長及出張所長ハ當該港灣ニ常置スル揚搭指揮官トス
  - 但シ軍管區（關東軍）司令官又ハ鎮守府（警備府）司令長官部署ヲ以テ特ニ短切揚搭ヲ實施スル場合ハ別ニ指定セラレルトアリ
  - 三一、揚搭指揮官ハ軍管區（關東軍）司令官又ハ鎮守府（警備府）司令長官ノ區處ヲ承ケ關係地方長官ト密ニ協力シ所在港灣地區ニ在ル陸海軍輸送關係部隊及關係官機關ノ所要人員ヲ指揮シ之ヲ通シテ關係官民機關ヲ活用シ左ノ業務ヲ實施ス
    - (イ) 揚搭實施ノ爲所在港灣地區ニ於ケル關係軍官民作業力ノ運用
    - (ロ) 揚搭作業ニ膺接スル陸上輸送關係諸業務トノ調節
- 但シ廣域港灣圈ニ於ケル先任揚搭指揮官ハ所要ニ應シ港灣内ニ在ル各揚搭指揮官ヲ統一指揮シテ前項業務ヲ統轄實施スルモノトス

第五項 國家船舶

三二、陸海軍徵備船舶ハ六月三十日附ヲ以テ全部解備シ國家船舶トセラル

但シ南方地域ニ在ル船舶ニ關シテハ別ニ定メラル

三三、國家船舶ヲ分チ左ノ二種トス

(イ) 作戰船舶

(ロ) 一般船舶

(註) (a) 作戰船舶トハ純作戰ニ使用セラルルモノヲ謂フ

(b) 一般船舶トハ前項以外ノモノヲ謂フ

三四、作戰船舶ノ増減ニ關シテハ陸海軍作戰部ノ要請ニ基キ別ニ定メラル

### 第三章 海上輸送

#### 第一項 要則

三五、海上輸送ハ戰力會議ニ於テ審議決定セラレタル陸海軍及政府ノ輸送要請ニ基キ輸送計畫及配船計畫ヲ定メ之ヲ實施セラ  
ルルモ狀況ノ變化ニ即應シ機敏活潑ナル配船ノ調整及之カ實施ニ遺憾ナカラシムルモノトス

三六、海上輸送ハ本年上半年ニ於テ能率ノ最大限ヲ發揮シ皇土決戰ノ爲最大限ノ努力ヲ傾注スルモノトス  
之カ爲輸送物件ハ皇土決戰ニ即應スルモノニ限定シ特ニ作戰輸送ト物動輸送トノ調節ニ遺憾ナカラシメ輸送力ノ最モ有効ナ  
ル利用ヲ圖ルト共ニ輸送力ノ最大能率發揮ニ關シ創意工夫各種ノ拔本的手段ヲ講スルモノトス

#### 第二項 計畫

三七、海運總監部ハ翌月稼動船腹量及總海上輸送可能量ヲ檢討シ之ヲ前月三日迄ニ關係各部ニ通知ス

三八、輸送請求諸部隊及諸官廳ハ輸送物件ノ整備見込及集積狀況ヲ考慮ノ上輸送請求(概案)ヲ前月五日迄ニ夫々兵站總監部

戦力補給部及軍需省ニ提出ス

但シ輸送請求ノ様式ハ差當リ陸海軍及政府毎ニ從來通りトス

三九、兵站總監部、戦力補給部、軍需省ハ前項要請ニ基キ作戦及物動上ノ要求竝ニ現在輸送集積量及輸送狀況ノ見透等ヲ勘案シ品種別、揚塔地別ニヨル輸送要請量ヲ概定シ前月十日頃迄ニ海運總監部ニ通知ス

四〇、海運總監部ハ前項輸送要請量ヲ取纏メ戦力會議ニ提出ス

四一、戦力會議（毎月十二日ト豫定ス）ニ於テハ翌月輸送力見込ニ基キ作戦及物動上ノ要請等ヲ勘案ノ上海上輸送スヘキ軍事輸送量ト總動員物資輸送量（以下作戦輸送及物動輸送ト略稱ス）トノ配分竝ニ種別、順位等ヲ決定ス

狀況ニ依リ先ツ輸送量ノ配分ヲ概定スルコトアリ

四二、海運總監部ハ前項決定ニ基キ輸送物件ノ相互間ノ細部調整ヲ圖リ其ノ及配船計畫ヲ策定ス

四三、海運總監部ハ配船計畫ヲ大本營海軍部及海上護衛總司令部ニ報告（通報）シ護衛作戦ノ資料トス又港灣揚塔豫定見込ヲ關係軍、官ノ機關ニ通報ス

### 第三項 配船 及 調整

四四、海運總監部ハ配船計畫ヲ船舶司令官ニ指示スルト共ニ各揚塔指揮官、當該船船長竝ニ關係海運地方實行機關ニ通達ス

四五、配船計畫決定後緊急輸送ヲ要スル場合又ハ情勢ノ變化ニ伴ヒ既計畫ノ變更ヲ要スルトキハ海運總監部之ヲ定メ前項ニ準シ關係機關ニ指示（通達）ス

但シ右ニ伴フ配船調整ノ指示機ヲ逸シ輸送能率低下ノ虞アル際ハ現場地方海運實行機關ハ適宜配船調整ヲ實施スルコトヲ得

此ノ場合中央トノ連絡ニ關シテハ八號後段ニ據ル

四六、配船ト輸送要請トノ吻合ヲ一層適確ナラシムル爲要スレハ輸送會議ヲ開催ス

輸送會議ハ海運總監主宰シテ之ヲ實施ス

四七、出港命令ハ各港揚揚搭指揮官（揚搭指揮官在ラサル地ハ該地輸送機關ノ長）之ヲ船長ニ與フルモノトス、但シ海上交通保護機關及船團部隊指揮官ヨリ特令セラルル場合ニハ之ニ依ルモノトス

出港命令ヲ受ケタル船舶中海上交通保護機關及船團部隊指揮官ヨリ出港停止ヲ指令セラレタルモノハ出港停止解除ノ令ニ依リ速ニ出港スルモノトス

四八、出港船舶ハ海上交通保護機關及船團部隊指揮官ノ指令ニ依ルノ外最短航路ヲ取り仕向地ニ航行スルモノトシ保安ノ必要アル場合以外寄港假泊等ヲナスコトヲ得ス

狀況ニ依リ必要アル船舶ニ運航監督官ヲ乗船セシムルコトアリ

四九、航海中ハ特ニ故障惹起防止ニ注意シ稼行率ノ向上ニ努ムルモノトス

又載荷船仕向地ニ近接セハ短切揚揚ノ要求ニ應スル如ク船内荷役準備ヲ完了シ置クモノトス

五〇、揚搭指揮官ハ船舶入港ト同時ニ所要ノ人員ヲ帶同シ臨船シテ航海、積荷、補給、荷役、船員、修理、護衛等各部面ニ互リ現狀ヲ詳知シ措置可能ノモノハ直ニ處理スルト共ニ關係機關ニ要請スヘキモノハ速ニ之ヲ要請ス

又船員ノ志氣昂揚ニ關シ特ニ留意ス

五一、船舶入港セハ船長ハ速ニ當該港揚揚搭指揮官（揚搭指揮官在ラサル地ハ該地輸送機關ノ長）ニ對シ航海中ノ作業及出港豫定等ニ關シ打合セスルモノトス

五二、滯船船舶ハ其ノ事由ヲ明瞭ナラシムル爲左ニ依リ標識旗ヲ掲揚（二個以上ノ事由ニ基クモノハ連掲）スルモノトス

修理待 [五]

補油（炭）待 [六]

荷役待 [七]

護衛（機雷）待

〔八〕

給水（糧）待

〔九〕

五三、各港灣揚塔指揮官（揚塔指揮官在ラサル地ハ該地輸送機關ノ長）ハ左ニ依リ在泊船日報、船舶發着報告（通報）及荷捌報告（通報）ヲ電報（電話）ヲ以テ行フモノトス  
但シ之カ詳報ハ必要ノ都度文書ヲ以テスルモノトス

（イ）在泊船日報（毎日正午現在）（某日甲報告ト略稱ス）

（一）日報内容

（1）合計隻數

（2）揚塔中ノ船名隻數

（3）滯船理由別船名隻數

（a）揚塔待、（b）修理待、（c）補油待、（d）補油作業待、（e）補炭待、（f）給水待、（g）給糧待、（h）護衛待、（i）機雷待、（j）小計隻數

（4）其ノ他必要ナル事項

（註）（a）船名表示ハ船名及冠字「J」ヲ省ケル船名符字（括弧内ニ入ル）ヲ以テシ各在泊状態ニ就キ初報ノ場合ニ

ノミ之ヲ附シ次報以下ハ省略ス

（b）本日報ハ合計隻數以外該當船アル項目ニ就テノミ行フモノトス

（c）前回日報ト變化ナキ場合ハ其ノ旨ノミ報告シ極力重複ヲ避ケ電報ヲ簡略化スルモノトス

（二）報告（通報）系統

要 日 報 港 灣	小樽、函館 船川、酒田、新潟、富山、伏木、 七尾 舞鶴、敦賀、境 門司、八幡、若松、博多 西戸崎 釜山、馬山、麗水、木浦 元山、清津、羅津 大連 塘沽、青島 日報者ハ現地陸海軍輸送機關ノ長 協議決定ス 大阪、神戸 吳
報 告 先	海 運 總 監 部 船 舶 司 令 部
通 報 先 標 準	五 船 司 日本海船船隊 舞鶴運輸部 一 船 司 佐世保運輸部 一 船 司 舞鶴運輸部、日本海船船 隊 北 鮮 船 舶 隊 舞鶴運輸部、一船司、日 本海船船隊 二 船 司 一 船 司 吳運輸部、一船司 一 船 司、阪神船船隊
使 用 通 信 系 標 準	通信ハ繁閑 ニ應シ現地 陸海軍輸送 機關通信關 係者ハ相互 ニ協議人員 施設ヲ彼此 融通通信ヲ 實施スルモ ノトス
	陸軍系但シ新潟 伏木ハ海軍系ニ 依ルコトヲ得 海 軍 系 陸 軍 系 陸 軍 系 陸 軍 系 海 軍 系 陸 軍 系 陸 軍 系 海 軍 系

(註) 通報先ニハ右表以外海上護衛總司令部及適宜必要部ヲ追加處理スルモノトス

(一) 船舶發航ノ都度行フ

內容(第一報第二報ニ分ツ)





(ハ) 船舶入港報告(通報)(丙報告ト略稱ス)

船舶入港セル港灣ハ毎日正午現在ヲ以テ前日正午ヨリノ入港船舶ニ就キ一括行フ

(一) 内容

(1) 船名(冠字)ヲ省ケル船名符字、入港日時、豫定仕向地、出港豫定日、豫定積載物件

様式 船名(△△△) 地名(○○○) 物件名(○○○)

(2) 其ノ他特ニ必要アル事項

報告(通報)先	報告(通報)先標準	使用通信系標準
各港灣揚搭指揮官 揚搭指揮官在ラサル時ハ現地輸送機關ノ長	(1) 海運總監 (2) 船舶司令官 (3) 發航地ヲ統轄スル輸送機關ノ長 (4) 仕向地揚搭指揮官 (5) 仕向地ヲ統轄スル輸送機關ノ長 (6) 海上護衛總司令部關係海護機關 (7) 其ノ他要スル機關 (8) 其ノ他要スル機關 (註) 第二報ノ報告通報先ハ(2)(4)(5)ノ外省略スルコトヲ得	(1) 適宜陸軍系又ハ海軍系ニ依ル(第一報ハ速達ヲ期シ得ル系ニ依ル) (2) 軍通信機關ナキ港灣ニ於テハ最寄軍通信機關ニ依頼發電スルヲ本則トシ局線利用ハ已ムヲ得ザル場合ニ限ル (3) 發信者ハ現地海上交通保護機關ト密ニ連絡シ海上交通保護機關其ノ他關係海軍機關ヘノ通報洩ヲナカラシム 之カ爲可能ナル場合第一報ノ海軍機關ヘノ通達處理ハ現地海上交通保護機關(海軍機關)ニ依頼スルヲ本則トス (本第一報ハ現地海上交通保護機關ト協議シ之ノ發スル船團行動豫定報告ヲ以テ兼ネシムルコトヲ得)

(二) 報告(通報)系統

報告(通報)先標準ニ發航地揚搭指揮官ヲ加フル外發航報告ニ準ス

(二) 荷捌報告(丁報告ト略稱ス)

港灣ニ於ケル重要物動物資竝ニ軍需品ニ就キ行フ

(一) 内容

- (1) 鐵道到着(船積到着)
- (2) 船積發送(鐵道發送)
- (3) 揚陸
- (4) 奥地向發送
- (5) 滯貨(同主要原因及滯貨受取先)

主要品種別數量

(二) 報告(通報)系統

- (1) 右内容ノ全部ニ就キ左表區分ニ依リ各地區毎ニ指揮官所定ニ依リ一乃至數個所ニ統轄旬報スル外各港灣ハ必要ノ都度其ノ全部又ハ一部ニ就キ各個ニ報告(通報)ス
- (2) 右ノ外在泊船日報ニ準ス、但シ通報先ヨリ海上交通保護機關ヲ除キ又文書ヲ以テ速達確達ヲ期シ得ル地ハ之ニ依ルコトヲ得

地區別	同地區指揮官	統轄港灣
北海地區	第五船舶輸送隊長	大泊、稚内、根室、釧路、小樽、留萌、室蘭、函館、其ノ他
大湊地區	大湊海軍運輸部長	青森、大湊、八戸、其ノ他
北陸地區	日本海船舶隊長	船川、土崎、酒田、新潟、直江津、富山、伏木、七尾、其ノ他

山陰地區	舞鶴海軍運輸部長	敦賀、舞鶴、新舞鶴、宮津、境、其ノ他
横須賀管區	横須賀海軍運輸部長	塩釜、館山、横須賀、名古屋、四日市
東京地區	東京船舶隊長	横濱、芝浦、下田
阪神地區	阪神船舶隊長	大阪、尼ヶ崎、神戸、其ノ他
吳管區	吳海軍運輸部長	吳、徳山、光、佐伯、其ノ他
廣島地區	廣島船舶隊長	坂出、新居濱、宇品、其ノ他
北九州地區	北九州船舶隊長	仙崎、下關、門司、八幡、若松、其ノ他
博多地區	博多船舶地區隊長	博多、唐津、伊万里
佐世保管區	佐世保海軍運輸部長	西戸崎、佐世保、長崎、三池、三角、其ノ他
鹿兒島地區	南九州船舶隊長	鹿兒島
南鮮地區	南鮮船舶隊長	釜山、馬山、麗水、木浦、其ノ他
鎮海管區	鎮海海軍運輸部長	鎮海、其ノ他
北鮮地區	北鮮船舶隊長	元山、遮湖、墨湖津、城津、清津、羅津、雄基、其ノ他
關東州地區	大連船舶隊長	大連、旅順、其ノ他
北支地區	現地陸海軍輸送機關協議決定	塘沽、其ノ他
山東地區	同 右	青島、其ノ他

五四、海運地方實行機關ノ長（揚搭指揮官）ハ所要ノ軍、官、民ヲ以テ適宜運航監査班ヲ設ケ運航能率ノ改善向上ニ資スルモ

ノトス

### 第四章 揚 塔

#### 第一項 要 則

五五、船舶ノ同轉率増大ノ爲常時短切揚塔實施ヲ本則トス

之カ爲港灣ノ常置揚塔指揮官ハ所在港灣作業力ヲ統一運用シテ揚塔作業ヲ實施シ又之ニ關聯スル船舶ノ運行規正並ニ船舶諸

準備ニ就テハ二位一體タル性格ニ於テ輸送機關ノ長トシテ迅速ニ之ヲ處理スルモノトス

又廣域港灣圏ノ統一揚塔指揮官ハ港灣圏内ノ作業力ヲ彼此統一運用シ尙二位一體タル所在輸送機關ノ統一指揮官トシテハ港

灣圏内ノ船舶ノ運行規正並ニ船舶諸準備ヲ統轄スルモノトス

五六、同一港灣ニ位置スル陸海軍輸送機關ハ合體シ同一場所ニ勤務シ揚塔指揮官タル輸送機關ノ長ノ指揮ヲ承クルモノトス

尙隣接スル港灣ハ一揚塔指揮官ヲシテ兼任セシムルコトヲ得

陸海軍ノ輸送機關ノ在ラサル港灣ニ就テハ所在官又ハ民ノ輸送機關ノ長ヲシテ揚塔指揮官ノ業務ヲ代行セシム

揚塔指揮官ハ指揮中樞トシテ揚塔司令部ヲ設ク

揚塔司令部ニ勤務セシムヘキ者ノ標準概ネ左ノ如シ

- 軍輸送機關
- 地 方 廳
- 海 運 局
- 船舶運管會
- 作業會社
- 倉庫會社

等ノ中所要人員

第二項 各機關相互ノ關係

五七、軍官民輸送關係機關ハ勉メテ同一建物内ニ位置スル如ク措置ス

五八、短切揚搭實施ニ關シ地方長官、海運局長、鐵道局長等ニ對スル軍管區司令官又ハ鎮守府（警備府）司令長官ノ指揮權ハ輸送機關ノ長ニ移讓セラルルコトナキモ其ノ所要人員ハ命令ヲ以テ輸送機關ノ長（揚搭指揮官）ノ指揮下ニ入ラシメ以テ之等機關相互ノ關係ヲ律セラルルモノトス

（註）（イ）關係官民ハ陸海軍輸送機關ノ囑託トシ關係官民機關ニ對シテハ勉メテ之等人員ヲ通シテ其ノ自主的活動ヲ促進スル如ク處置スルヲ可トス

（ロ）揚搭指揮官設置ノ趣旨ハ命令ヲ以テ作業力ヲ統一運用シ以テ作戰的ニ揚搭作業ヲ處理セントスルモノナリ依ツテ時トシテハ無理押シ敢テ辭スヘカラスト雖モ反面官民ノ經驗技能等ヲ活用シ其ノ面目ヲ保持セシムルノ考慮亦ナカルヘカラスト

五九、港灣行政ノ所掌ハ地方總監及地方總監指定ノ地方長官トシ揚搭指揮官ハ必要アリト認メタル場合ハ左ノ事項ニ關シ軍管區司令官又ハ鎮守府（警備府）司令長官ヲ經由シテ其ノ措置ヲ要望スルモノトス

- (イ) 勞務ノ充足
- (ロ) 荷役用資材及勞務者ノ必需物資ノ充足
- (ハ) 港灣在貨ノ處分
- (ニ) 貨車ノ増配
- (ホ) 小運送ノ手配
- (ヘ) 荷役用舟艇ノ修理
- (ト) 荷役用機械ノ整備

(チ) 其ノ他必要ナル事項

搭指揮官

(註) (一) 地方總監(地方長官)及地方總監指定ノ地方長官ハ揚子圓滑ナラシムル如ク主トシテ後方準備諸項ノ措置ニ當ルヘ

ク關係應ラ一元的ニ指揮ス

ハ地方總監ニ要請スル權限ヲ有スル軍管區

(二) 前項行政措置ハ揚搭指揮官ヨリ短切揚搭實施ニ關シ地方長官ヲ指揮シ又ハ揚搭指揮官ノ權限ヲ有スル軍管區司令官

又ハ鎮守府(警備府)司令長官ニ上申シ之等軍官憲ヨリ地方長官ニ指令又ハ要求セラルルヲ本則トスルモ輕易ナル

事項又ハ緊急ヲ要スルトキハ此ノ如キ事務手續ヲ省略シ現場ニ於テ相互ノ連繫ニヨリ即決スルヲ可トス

(三) 港灣圈内統一揚搭指揮官所要ニ應シ之等要望ヲ統制スルヲ可トスル場合アリ

六〇、前項措置ニヨルモ作業力不足ノ爲更ニ強力ナル短切揚搭ノ實施ヲ必要トスル場合ニ於テハ軍管區司令官又ハ鎮守府(警

備府)司令長官之ヲ部署シテ處理セララルモノトス

之カ爲船舶司令官及各揚搭指揮官ハ常ニ配船狀況ヲ關係司令(長)官ニ通報報告シ部署ノ資料タラシムルト共ニ其ノ要請機

宜ニ適シ作業ニ滞滞ナカラシムルモノトス

六一、揚搭作業ニ廣接スル陸上輸送關係業務トノ調節ヲ圖ルタメ揚搭司令部内ニ荷捌委員會ヲ設置スルモノトス

荷捌委員會ノ構成ハ揚搭關係軍官及荷主關係統制機關港灣作業會社、船舶運營會、倉庫會社、日本通運會社ヲ參加セシム

揚搭指揮官ハ之カ委員長トシテ揚搭作業ニ廣接スル陸運關係處理計畫及之カ實行トノ調節ヲ圖ルモノトス

第三項 業務處理要領

六二、發港地輸送機關ノ長ハ著地輸送機關ノ長及同地ヲ統轄スル輸送機關ノ長ニ成ルヘク速ニ左ノ事項中必要ナルモノニ付五

三號(要領)ニ依リ通報シ揚搭作業準備ニ遺憾ナカラシムルモノトス、揚搭地輸送機關ノ長ニモ同時ニ報告ス

(イ) 積載品種、數量

(ロ) 積付區分

(一) 揚搭作業上特別考慮ヲ要スル諸件

(二) 揚搭地ニ於テ實施ヲ要スル船舶準備事項(給水、給炭、修理等)

(ホ) 吃水

(ハ) 入港豫定日時

六三、揚搭地輸送機關ノ長ハ前項通報ニ基キ船舶入港ニ先立テ豫メ揚搭作業計畫ヲ立案シテ諸準備ヲ進メ船舶入港セハ直ニ臨船確認ノ上要素レハ作業計畫ノ一部ヲ修正シタル後作業ヲ開始セシムルモノトス

(註) 揚搭指揮官ハ船籍所屬ノ如何ヲ問ハズ職務ノ所屬ヲ論セス同一觀念ヲ以テ取扱クモノトス

六四、揚搭作業計畫ニ於テ定ムヘキ大綱概テ次ノ如シ

(イ) 荷役船順位

(ロ) 荷役法

(ハ) 荷役ノ着手及完了時機

(ニ) 荷役ノ部署特ニ曳船艇舟及勞務ノ運用要領

(ホ) 其ノ他必要ナル事項

(註) (一) 勞務及荷役用資材ハ一港灣内ニ在リテハ陸上及水上彼此融通シ又港灣圈内ニ在リテモ各港灣相互轉用シテ以テ

作業力ノ重點形成ニ遺憾ナカラシムルモノトス而シテ之等業務ハ揚搭指揮官(統一揚搭指揮官)ノ責任ニ於テ斷行スルモノトス

(二) 配船狀況ハ戰況ニ即應シ當該港灣ノ日々ノ基準荷役力ヲ超過スルコト屢々ナルヘシ

此クノ如キ場合ヨソ特ニ強力ナル短切揚搭ヲ必要トスル場合ナリ手持ノ荷役力不足ニ藉口シ不荷役船ヲ生セサル如ク注意ヲ要ス



六五、揚搭指揮官ハ船積ノ最大限活用及其ノ完全ナル戦力化ヲ圖ル爲常ニ船舶、港灣施設、勞務、舢艫、曳船、倉庫、上屋、野積地、鐵道、陸上小運送、港頭在貨等ノ現況ヲ把握シ輸送要請トノ適切ナル吻合ヲ圖ルト共ニ特ニ左記諸件ニ留意シ要スレハ關係機關ニ要請シ又之ヲ督勵シ萬全ノ處置ニ悔無キ努力ヲ傾注スルモノトス

(イ) 積荷計畫ニ當リテハ船内不用品ノ整理ニ依ル積載能力ノ増大、適切ナル積合ニ依ル積載量ノ増加、甲板積ノ強行等ニ依リ配船計畫量ニ拘ハラズ超滿船ヲ期ス

之カ爲船舶一部ノ改装、「バラスト」代用ニ依ル輸送物件ノ増加、乗組員居室一部利用、乗船軍隊及人員ノ糧秣義務携行、船内給養ノ代用食化等凡有創意工夫ニ勉ム

又積荷ノ一舉損耗ヲ防止スル爲適宜各船ニ分載シ尙一部ノ損耗ノ爲全般ノ機能ヲ喪失スルコト無カラシムル如ク考慮ス

(ロ) 發送豫定物件ハ船積ノ利用ヲ完全ナラシムル爲其ノ船舶搭載開始迄ニ到着セサル場合及船舶ノ増積、餘積、甲板積等ノ場合等ヲ考慮シ配船計畫量ニ拘ハラズ港頭地區ノ防衛等ヲ勘案シ集積能力ノ許ス限リ豫メ港頭附近ニ整備シ置クモノトス

(ハ) 輸送物件ノ港頭集積ハ熾烈ナル敵ノ空中攻撃ニ對處スル爲短切揚搭作戦及港頭地區集散ノ敏活ナル實施ヲ主眼トシ通常各揚搭指揮官其ノ要領ヲ定ムルモノトス

(ニ) 發送物件ハ船舶搭載ノ遅クモ二日前迄ニ港頭ニ到着スル如ク鐵道輸送ヲ行フモノトス

(ホ) 輸送物件ハ其ノ要輸送品種ヲ極力厳選スルト共ニ荷役其ノ他ヲ容易ニシ輸送ノ目的ヲ達成スル如ク特ニ左ノ諸項ヲ恪守スルモノトス

(一) 梱包ハ特ニ堅牢ニシ損廢亂梱ノ虞ナカラシムルコト

(二) 分解可能ナル物件ハ容積ヲ緊縮スル如ク努メテ改造スルコト

(三) 品種ノ整理統一ヲ圖リ荷役能率ノ發揮ニ努ムルコト

(四) 危険品(特ニ火藥類)ノ取扱ハ特ニ留意シ事故ノ絶對防止ヲ圖ルコト之カ爲

(1) 危険品ノ積付ハ特別ニ船艙ヲ設クルヲ本則トシ然ラサル場合ニ於テモ一般梱包ト確實ニ區劃ス

(2) 各梱包ニハ危険品内容ヲ明記スル外赤布片標識ヲ必ス附ス

(3) 危険品荷役中ハ本船ニ赤旗ヲ掲クル外作業場ニモ之ヲ掲ケ識別ヲ明瞭ナラシム

(4) 前號標識ヲ掲ケタル船及作業場附近所要ノ範圍内ニ於ケル火氣ノ使用ヲ嚴禁ス

(5) 右勵行ノ爲危険物荷役中ハ所要ノ監視員ヲ配スルモノトス

(五) 特ニ緊急要品ニハ目的地到着迄已ムヲ得サレハ船舶搭載終了迄率領者ヲ附スルコト

六六、揚搭指揮官ハ揚陸計畫立案ト共ニ荷捌委員會委員長トシテ關係委員輔佐ノ下ニ揚陸物件ノ處理ヲ決定シ陸送關係官民機關ノ實行ヲ促進ス

(註)

(イ) 港頭滞貨ハ揚陸作業ヲ妨害スルノミナラス空襲ヨリ一舉被害ヲ被ル虞アルヲ以テ貨車増配ニ關シ特ニ關係機關ノ活動ヲ促スト共ニ背後地分散ヲ斷行スル著意必要ナリ 而シテ分散スヘキ品種數量等ハ物資統制官廳ヨリ派遣セラレアル委員ノ意見ヲ聽取シテ之ヲ決定スルヲ可トス

(ロ) 狀況ニヨリ急遽船舶ノ揚陸地變更ヲ指令セラレ或ハ輸送司令官又ハ廣域港灣圈ヲ統一指揮スル輸送機關ノ長(揚搭指揮官)ハ獨斷之ヲ變更ヲ要スルコトアリ

此ノ場合ニ在リテハ關係方面ニ對スル報告通報ヲ迅速的確ニシテ揚搭作業ニ遲滞ナカラシムルト共ニ陸送關係變更ノ手配ヲ併セ講スルノ著意ヲ必要トス 而シテ此ノ如キ時コソ特ニ荷捌委員會ヲ活用スヘキモノトス

六七、荷捌委員會ノ業務處理ノ基準左ノ如シ

(イ) 毎日協議決定スヘキ事項

(一) 前日ノ在庫狀況(本船内、船内及上屋倉庫等)及荷役狀況(船内、沿岸及倉庫荷役)ノ報告

(二) 本船入津豫定ヲ勘案シ現在滞貨及入津貨物ノ荷役並ニ配車等ニ關シ執ルヘキ事項ノ決定(荷役、勞務、解、倉庫、貨車等ノ手配)

(三) 其ノ他必要ナル事項

(ロ) 必要ニ應シ措置スヘキ事項

(一) 揚陸貨物ノ行先不明又ハ未決定ノモノニ對シ迅速ナル行先ノ決定

(二) 揚陸貨物ノ行先變更ヲ必要トスル場合ニ於テ中央ヨリ特別ノ指示ナキトキノ其ノ變更決定

(三) 奥地疎開又ハ背後地集積ヲ要スヘキモノニ付其ノ行先輸送方法ノ決定竝ニ奥地疎開又ハ背後地集積ヲ爲シタル貨物ニ付中央ヨリ特別ノ指示ナキトキ其ノ第二次輸送措置ノ決定

六八、揚搭指揮官ハ港灣施設ヲ使用シ得サル場合ニアリテモ揚搭作業ヲ續行シ得ル如ク豫メ諸準備ヲ整ヘ隨時之ヲ斷行スルモ  
ノトス

(註) 此ノ場合ハ上陸作戰方式ニヨルモノトス

## 第五章 船舶準備

### 第一項 要 則

六九、海運總監ハ船舶運用ニ必要ナル船舶準備ノ大綱ヲ計畫シ其ノ實施ニ關シ關係機關ニ夫々要請ス

七〇、船舶司令官ハ船舶準備ノ實施ヲ主掌シ鎮守府、警備府司令長官之ヲ援助ス

### 第二項 燃 料

七一、船舶運航用重油ニ關シテハ海運總監ハ毎月其ノ所要額ヲ確保シ重油ノ供給地(製油所及油槽所等)別配當計畫竝ニ配船計畫ニ基ク地域別要準備額ヲ船舶司令官ニ通牒ス

船舶司令官ハ右通牒ニ基キ輸送諸部隊、補給諸部隊等ヲシテ且又現民間機構ヲ極力活用シ船舶ヘノ補給(重油ノ供給地ヨリノ輸送ヲ含ム)ニ任セシムルモノトス

七二、港灣荷役用舟艇類ニ對スル液體燃料及重油以外ノ船舶用液體燃料ニ關シテハ從來ノ機構竝ニ要領ニ據ルモノトス  
海運總監ハ港灣荷役用舟艇類ニ對スル液體燃料ノ府縣別割當量ヲ船舶司令官及各地揚搭指揮官ニ通牒ス

船舶司令官及各地揚搭指揮官ハ之カ現物化及圓滑ナル補給ニ關シ強力ナル支援ヲ與フルモノトス  
七三、船舶用石炭ニ關シテハ從來ノ機構及要領ニ據ルモノトス

海運總監ハ船舶用石炭ノ毎月ノ配船計畫ニ基ク地域別所要額ヲ船舶司令官ニ通牒ス  
船舶司令官ハ之カ準備補給等ニ關シ強力ナル支援ヲ與フルモノトス

### 第三項 船用品

七四、船用品ニ關シテハ從來ノ機構及要領ニ據ルモノトス船舶司令官ハ船用品ノ整備補給等ニ關シ支援ヲ與フルモノトス

七五、運営會ハ毎月末若クハ必要ノ都度船用品ノ主要ナルモノニ付其ノ現況及補給ノ狀況等ヲ海運總監及船舶司令官ニ通報ス  
ルモノトス

### 第四項 修理

七六、海運總監ハ船舶ノ修理補修等ニ關シ主トシテ計畫修繕及配船計畫ニ影響アリト認めラルル應急修繕等ニ對シ船名、時機  
造船所、修理順位、修理内容、期間等ニ對スル要望ヲ決定シ海軍ニ實施ヲ要請ス

要スレハ船舶司令官ニ委任セル應急修繕ニ關スル管制ヲナスト共ニ直裁ス

七七、船舶司令官ハ主トシテ應急修繕ヲ擔任シ要修理船、時機、造船所、修理順位、修理内容期間等ニ對スル要望ヲ策定シ之  
カ實施ヲ海運總監ヲ經テ海軍ニ要請スルト共ニ監督長(官)ヲ通シ之カ促進ヲ圖ルヘキ業務ニ任スルト共ニ計畫修繕ニ對ス  
ル資料ヲ總監部ニ提出ス

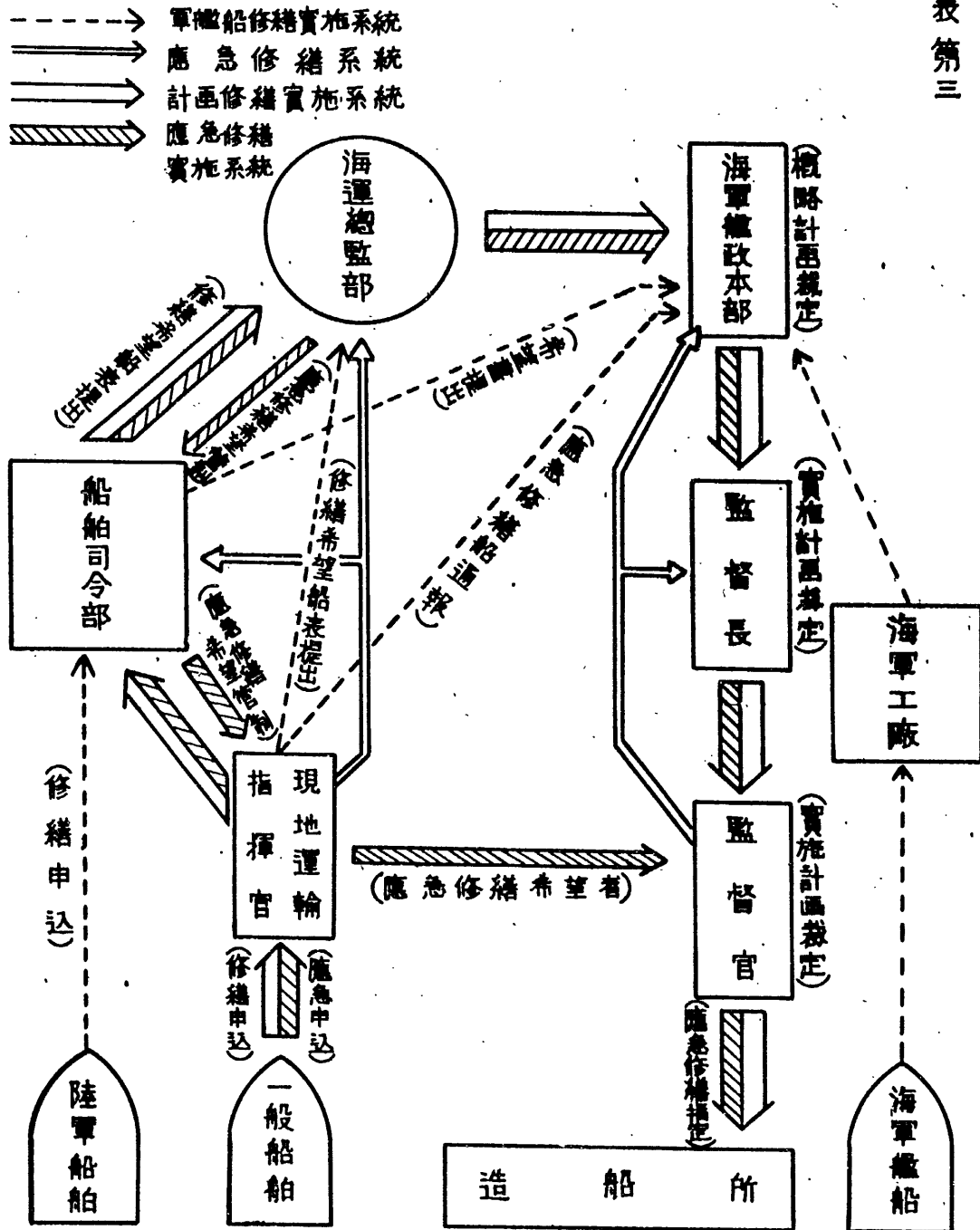
但シ現地輸送機關ノ長ヲシテ一部實施セシムルト共ニ現地輸送機關ノ長ニテ處理スヘキモノニ對シ管制シ得  
一元運営實施ニ伴フ船舶修繕事務速達系統圖別表第三ノ通り

(註) 應急修繕トハ配船ノ實施ニ大ナル影響ヲ及ササル小修理及突發的修理事項ニシテ急速現場處理ヲ要スル修繕ヲ謂フ  
七八、現地輸送機關ノ長及船長ハ修理ノ實施ヲ速カナラシムル爲修理ノ要請ニ關シ所要ノ事項ヲ關係ノ機關ニ速報シ之カ促進  
ヲ圖ルモノトス

### 第五項 兵裝

一元運營實施二件の船舶修繕事務速達系統圖

別表第三



七九、國家船舶ノ兵裝警戒ニ關シテハ海軍之カ計畫竝ニ實施ヲ擔任シ（但シ陸軍軍事船舶機關ニ關スル事項ヲ除ク）陸軍之ヲ援助ス

八〇、國家船舶兵裝用兵器ノ取得ニ關シテハ陸海軍戰備協定ニ基キ海軍擔任ナルモ陸海軍ハ船舶兵器ノ裝備用トシテ其ノ所有兵器ノ一部ヲ極力充當スルモノトシ其ノ陸軍兵器ハ之ヲ海軍ニ移管スルモノトシ細部ハ別ノ協定ニ依ル

八一、陸軍ハ其ノ施設ヲ以テ兵裝工事ノ實施ニ協力ス

八二、船舶司令部ハ船舶ノ任務行動上即急ノ措置ヲ必要ト認メタル場合ニ限り船舶間ニ對空兵器ノ重點的移動ヲ左ニ依リ實施スルコトヲ得

(イ) 移動ノ限度ハ昭和十九年軍務一機密第一〇九一號及昭和二十年軍務一機密第二一二號ニ準據スルコト（附錄第五、第六）

(ロ) 船舶砲兵隊員警戒隊員ノ配乘區分ハ概ネ現狀通リトシ既ニ陸海軍警戒部隊ノ配乘セル船舶ニ人員兵器ヲ移動スル場合指揮ノ混淆ヲ避クル如ク極力同船固有警戒部隊ト同一所管ノモノトスルコト

(ハ) 右業務處理ハ船舶應急修理ノ方法ニ準シ現地處理ニ依ルモノトシ其ノ都度速ニ海運總監部竝ニ關係方面ニ報告（通報）スルコト

八三、前諸項ニ關シ海運總監部ハ海軍トノ密接ナル連絡ヲトリ必要ニ應シ右措置ヲ統制ス

## 第六章 船員

### 第一項 要則

八四、本章ノ船員トハ一元運營ニ任スベキ國家船舶乘組員及之ニ對スル待機豫備船員ヲ謂フ

(註) 待機豫備船員トハ運輸省（船舶運營會）ニ於テ豫備船員トシテ指定シアル者ノ中艙裝員、出勤待機員（公暇及請暇中

ノ者ヲ含ム) 自宅待機員及事故ニ依リ下船セル者ヲ謂フ

第二項 賞 罰

八五、表彰ハ別ニ定ムル國家船舶船員表彰規程ニ依リ之ヲ實施ス

八六、刑罰及懲罰ハ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ實施ス

第三項 功 績

八七、功績ハ別ニ定ムル國家船舶船員功績調査規程ニ依リ之ヲ實施ス

第四項 人 事

八八、待遇官吏タル船員ノ任免補職級位及彼勤ニ關スル事務ハ運輸省之ヲ行ヒ船舶運營會ハ内申ノ實務ヲ實施シ船舶司令部鎮守府警備府之ヲ援助ス

八九、船員動員令ニ依ル徵用及徵用變更並ニ徵用解除ハ船舶運營會ノ申請ニ依リ又ハ申請ヲ俟ツコトナク運輸省之ヲ行フ

九〇、船舶運營會ノ機關ナキ地ニアリテハ海運地方實行機關ハ運輸省(運營會)ニ對シ所要ノ援助ヲ爲スモノトス

九一、戰歿者等ノ身上取扱及靖國神社祀ニ關スル業務ハ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ實施ス

第五項 教 育

九二、基本教育ハ運輸省計畫實施シ海軍之ヲ援助ス

九三、海上護衛及船舶保護ニ關スル教育ハ海軍及運輸省計畫シ鎮守府、警備府、海上護衛機關(船舶警戒部)運輸省實施シ船舶運營會之ヲ實施シ援助ス

九四、右以外當面必要ナル事項ニ關スル教育ハ陸海軍計畫シ船舶司令部、鎮守府、警備府之ヲ實施ス

第六項 補 充 交 代

九五、補充交代ハ運輸省計畫シ船舶運營會之ヲ實施シ船舶司令部、鎮守府、警備府ハ海運總監部經由必要ナル事項ヲ運輸省(船

船舶運管會)ニ要請ス 但シ急ヲ要スル事項ハ直接現地運管會支部ニ要請スルモノトス

九六、船舶運管會現地機關補充交代要員不足シ他地區ヨリ要員ノ派遣ヲ求メントスル場合海運地方實行機關ハ所要ノ通信連絡及要員ノ輸送等ニ關シ之ニ協力スルモノトス

九七、配船ノ變更其ノ他ノ事情ニ依リ各地區ニ於ケル補充交代要員ノ配員ヲ變更セシムル要アル場合ハ海運總監部(船舶司令部ハ海運總監部經由)之ヲ運輸省ニ要請ス 但シ急ヲ要スル場合ニ於テハ船舶司令部ハ直接現地運管會支部ニ要請ス

九八、船舶運管會ノ機關無キ地區ニ於テ補充交代ノ要アル場合船長ハ海運地方實行機關ト協議臨機ノ處置ヲ執リ之ヲ船舶司令部及船舶運管會ニ報告スルモノトス

右ノ場合海運地方實行機關ハ所要ノ通信連絡及要員ノ急送並ニ下船船員ノ還送等ニ關シ協力スルモノトス

#### 第七項 福利厚生(救恤ヲ含ム以下同シ)

九九、福利厚生ハ運輸省計畫シ船舶運管會(日本海運報國團及日本海員救濟援護會)之ヲ實施スルヲ本則トス

一〇〇、公死船員ニ關スル業務及船員並ニ遺家族ニ對スル扶助及一時金等ノ留守業務ハ運輸省之ヲ行フ

一〇一、船員死傷病手當ノ支給及船員保險ニ關スル業務ハ船舶運管會之ヲ行フ

一〇二、慰安施設(宿泊所船員寮ヲ含ム)ノ使用ニ關シテハ船舶司令官(海軍地域ニアリテハ鎮守府、警備府司令長官)之ヲ統制指導シ各現地ニ於テハ所在揚塔指揮官之カ使用區分及宿泊員數ノ割當等ヲ統制シ船舶運管會其ノ他現經營(管理)者之カ業務ヲ實施ス

但シ豫備員ノ宿泊ニ關スル事項ハ地方海運局長之ヲ實施ス

一〇三、宿泊所及船員寮ハ之ヲ甲級(高級船員用)乙級(普通船員用)ニ區分スルヲ例トス

一〇四、休憩所ニ關シテハ宿泊所ニ準ス 但シ狀況ニ依リ甲乙級ノ區分ヲ行ハサルモノトス

一〇五、慰安施設ニ對スル糧食ノ補給ハ經營(管理)者之ヲ行フモ船員ニ對スル糧食ニ關シテハ揚塔指揮官之カ確保ニ特ニ留



意シ取得困難ナル場合ハ其ノ補給ヲ所在陸海軍ニ要請シ陸海軍ハ之カ補給ヲ援助ス

第八項 被服及日用品

一〇六、被服及日用品ノ調達補給ハ運輸省計畫シ船舶運管會（日本海運報國團）之ヲ實施ス

一〇七、運輸省（船舶運管會）ニ於テ取得困難ナル物件ニ關シテハ陸海軍折半負擔之カ補給ヲ援助シ船舶司令部ハ之カ輸送並ニ補給ヲ實施ス 但シ補給ニ當リテハ努メテ現機構ノ活用ヲ圖ルモノトス

第九項 糧食

一〇八、糧食ノ補給ハ海運總監部計畫シ船舶司令部實施シ鎮守府警備府之ヲ援助ス

一〇九、運輸省ハ從來國家船舶ニ補給セル糧食ノ實績量ヲ陸軍ニ移管ス

一一〇、補給ニ當リテハ努メテ現機構ノ活用ヲ圖ルモノトス

第十項 醫療

一一一、醫療ハ海運總監部計畫シ運輸省（船舶運管會）之ヲ實施ス

一一二、徵用時ノ檢診ハ運輸省（船舶運管會）實施スルモ其ノ要請ニ依リ陸海軍之ヲ援助ス

一一三、乗船間ノ健康管理ニ關シテハ船長之ヲ擔任スルモ陸海軍所在機關ハ之ニ協力ス

一一四、乗下船診斷ハ揚搭指揮官ノ定ムル軍醫將校（軍醫科士官）之ヲ行フ 但シ下船診斷ニ際シ軍醫將校（軍醫科士官）アラサル港灣ニ於テハ陸海軍囑託醫又ハ海運局檢疫官ニ依リ之ヲ實施ス

一一五、揚搭指揮官ハ要スレハ所在陸海軍醫務機關ニ診療ノ援助ヲ要請ス

一一六、要入院患者ハ最寄陸海軍病院ニ入院セシムルコトヲ得

一一七、運輸省ニ於テ取得困難ナル衛生材料ハ陸海軍之ヲ折半負擔ス

一一八、防疫（檢疫）ハ所在海運地方實行機關ノ長所在ノ檢疫機關ヲ統制之ヲ實施ス

尙動物及物件ノ防疫（檢疫）モ右ニ準スルモノトス

第十一項 金錢給與

一一九、金錢給與ハ運輸省計畫シ船舶運營會之ヲ實施ス

第七章 通信

第一項 要則

一二〇、既設陸海軍及遞信院通信組織ヲ最有効ニ活用スルト共ニ所要ニ應シ之カ增強ヲ圖リ以テ一元運營關係通信ノ圓滑ナル實施ニ遺憾ナカラシム

第二項 實施要領

一二一、一元運營關係通信系ハ大本營陸軍通信系及海軍固定通信系並ニ船舶部隊通信系ヲ骨幹トシ遞信院通信網ヲ補足トシテ構成シ相互緊密ナル連繫ヲ圖ルト共ニ之カ運用ニ關シ陸海軍關係機關ハ積極的ニ協力ス

一二二、一元運營關係通信系統標準 別表第四ノ如シ

一二三、一元運營關係通信機關ノ主要任務分擔標準左表ノ如シ

通信機關	主要任務
大本營陸軍通信隊	主トシテ船舶支部以上ノ陸軍系海運實行機關ニ對スル通信及之等機關相互ノ通信
船舶通信隊	(一) 主トシテ船舶部隊内並ニ船舶支部以下陸軍系海運地方實行機關相互間ノ通信

船 舶 通 信 隊	東京海軍通信隊	吳海軍通信隊	大湊、横須賀、 大阪、舞鶴、 佐世保、鎮海 各海軍通信隊	鎮守府警備府及同麾下陸上通信機關 (除通信隊)	遞信院所屬通信機關
(三)(二)	(二)(一)	(二)(一)	(二)(一)	(二)(一)	(二)(一)
一元運營關係通信實施ニ關シ大本營陸軍通信系ヲ補強ス 特ニ要スル場合對船舶放送	主トシテ運輸部以上ノ海軍系海運實行機關ニ對スル通信 對一般船舶放送	主トシテ船舶司令部ト海軍系海運機關、船舶及海岸局間ノ通信 吳通信隊通信區内所在船舶ニ對スル通信	主トシテ運輸部以下海軍系海運地方實行機關相互間ノ通信 當該通信隊通信區内所在船舶ニ對スル通信	船舶司令官及海運地方實行機關ノ協議ニ應シ有線通信系(主トシテ電話)ヲ 主トシ要スル場合無線通信系ニ依リ一元運營關係通信ヲ實施ス	一元運營末梢系統通信(有線電信電話) 船舶情報ノ速報(海岸局)

一三四、使用暗號書呼出符號(宛名暗號)及信號書

(イ) 陸海軍、海岸局及船舶相互間ノ電報

(一) 海軍暗號書佐(緊急通信ニ主用) 天

(三) 呼出符號發着信者名ハ船舶通信規約ニ依ルヲ本則トス

右ニ依リ難キ發着信者名之ヲ本文内ニ挿入暗號化ス

(ロ) 陸軍系又ハ海軍系ノミニ對スル電報

陸海軍夫々固有暗號ニ依ルヲ本則トス 但シ陸軍暗號電報ヲ海軍通信系ニ依リ處理スル場合ニハ左ニ依ル

宛名ハ船舶宛名暗號書（船舶宛名甲亂數表ヲ併用）ヲ使用シ船舶宛名使用規定ニ依リ組立テタルモノヲ七七七七ヲ間シ電文末尾ニ記載シ類表宛名欄ニハ受信人所在地及單ニ陸軍船舶部隊宛電報ナル旨記載シ（例ヘハ大泊船舶）發信ヲ依頼ス右ノ場合七七七七（含ム）以下宛名ハ暗號作業上ノ語數ニ算入セサルモノトス

海軍ハ着信セル電報ヲ最寄ノ陸軍船舶部隊ニ交付ス

右宛名作業ノ擔任ハ海軍通信系ノ兩端末ニ於ケル陸軍船舶部隊トス

(ハ) 對船舶及船舶相互間ノ信號通信ハ船團通信書ニ依ル

(ニ) 海軍暗號書天、船舶通信規約及船團通信書ヲ所持シアラサル船舶ハ最寄海軍軍需部及同地方在勤海軍武官府ヨリ供給ヲ受クルモノトス

一二五、海運地方實行機關及海岸局ヨリ發受スル一元運營關係通信ヲ遞信院通信網ニ依リ處理スル場合ハ之ヲ軍用電報（電話）トシテ取扱ヒ緊急軍用官報以上トシ防衛情報、海上交通保護情報ニ次キ優先處理ス

一二六、海岸局ハ所定區分ニ從ヒ海軍通信隊ノ代行通信並ニ海面防空及海上交通保護通信ニ從事スルト共ニ自局ノ取得セル船舶情報ヲ速カニ最寄（所要）海運地方實行機關ニ通報ス

之カ爲最寄（所要）海運地方實行機關ハ關係海岸局及其ノ他ノ關係機關ト緊密ニ連絡シ要スレハ通信經路ヲ指示スル等積極的ニ之ヲ指導ス

一二七、陸海軍ヨリ左ノ區分ニ依リ海岸局ニ武官ヲ派遣ス

(イ) 陸軍（新規派遣ノモノ）

惠須取、大泊、稚内、札幌、函館、銚子、潮岬、下津井、釜山、大連、清津、羅津

(ロ) 海軍（既派遣ノモノ）

落石、新潟、若狹、角島、長崎、木浦

一二八、海岸局ニ派遣セラレタル陸軍及海軍武官ハ該局ノ取得セル船舶情報ノ通報ニ關シ積極的ニ協力(要スレハ指示)シ又該局ノ行フ海面防空通信竝ニ海上交通保護通信ニ關シ該局擔任鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官ノ指揮ヲ承クルモノトス

一二九、同一地所在ノ陸海軍及運管會所屬ノ海運地方實行機關ハ海運通信ノ一元化ニ關シ相互間ニ緊密ナル連繫ヲ保持スルモノトス

一三〇、本通信ニ必要ナル配員施設ノ強化ハ陸海軍關係部間ニ於テ其都度協議措置ス

## 第八章 經 理

別ニ定ム

(終)